

岡山の公民館

No. 66

令和8年3月 編集発行 岡山県公民館連合会
〒700-0016 岡山市北区伊島町 3-3-1 岡山県生涯学習センター内
電話 086-251-9751
ホームページ <https://www.pal.pref.okayama.jp/kenkouren/>



令和7年度 主な行事

● 令和7年度 岡山県公民館連合会総会・研修会
期日：令和7年5月30日(金)
場所：岡山県生涯学習センター 大研修 他

● 第47回全国公民館研究集会東京大会
期日：令和7年11月12日(水)・13日(木)
場所：東京国際フォーラム

備前ブロック

和気町中央公民館
「和気町子ども塾（自然満喫コース～外国山登山～）」



美作ブロック

新庄村公民館「モルックやろうぜっ！」



備中ブロック

矢掛町美川公民館「金毘羅天の絵天井 現地で解説会」



公民館記章



このシンボルマークは、公民館の「公」の字を図案化し、しかも、全体の形を「館」になぞらえたものです。

昭和53年 4月1日 制定
昭和35年10月1日 遊及適用

Index

各ブロックから・主な行事	1
挨拶・令和7年度表彰	2
令和7年度岡山県公民館連合会事業	3
第9回公民館職員が選ぶ！講座アワード	4・5
第47回全国公民館研究集会東京大会	
第37回全国公民館セミナー	
第48回全国公民館研究集会島根県大会 兼	
第47回中国・四国地区公民館研究集会島根大会のお知らせ	6
公民館 ひと・ひと・グループ	7
まちから むらから フォトレター	8

「これからの公民館の役割」

岡山県公民館連合会副会長 栗原 宏之
(岡山県生涯学習センター所長)



公民館は、戦後日本の地域社会において、単なる集会所にとどまらず、教育、福祉、地域振興、文化の発展などの総合的な機能を有する公共施設として、幅広い役割を担ってきました。そして、これらの活動を通じて、公民館は地域住民の絆を深め、地域社会の発展と調和を支えてきました。

近年、我が国は急速な少子化とともに超高齢社会を迎え、中山間地域の過疎化や単身世帯の増加、さらにはデジタル化の進展による対面コミュニケーションの減少など、社会構造の変化により、人間関係が希薄化してきていると言われています。

そうした中、国が令和5年6月に策定した「第4期教育振興基本計画」では、公民館等における地域のコミュニティ拠点機能の強化を図る観点から、子供の居場所としての活用、住民相互の学び合い・交流の促進、関連施設・施策や民間企業等との連携を推進するとしており、これからの公民館には、地域の学習拠点としての役割に加え、地域コミュニティの維持と持続的な発展を推進するセンター的役割や、地域の防災拠点としての役割が求められています。

また、第13期岡山県生涯学習審議会及び社会教育委員の会議においては、「全ての人のウェルビーイングの実現に向けた公民館の取組」について審議が行われました。その中で、公民館が取組を行う際に意識すべきポイントとして、多様な人々の存在に目を向けること、利用者に対して「参加」ではなく「参画」を促すこと、また、自前主義にとらわれることなく、多様な機関等と連携し、役割分担を行いながら持続可能な活動としていくことの重要性が示されました。

こうしたことから、岡山県公民館連合会は、今後も各公民館が今日的課題に対する役割を果たしつつ、人と地域をつなぐ様々な取組が進められるよう、公民館職員の方々に支援してまいります。

輝く令和7年度 受賞

文部科学大臣表彰 優良公民館表彰

【優秀館】西粟倉村あわくら会館

あわくら会館では、村民が主体的に生涯学習活動を創造することで、地域ニーズにあった地域リソースなどの活用が増え、より持続可能な運営を目指した。スタッフは村民の「やってみよう」を一緒になって面白がり、創造の連鎖が起こるように関わる「ジェネレーター」として、企画化をサポートしている。

深いつながりがない村民同士が共通の趣味や興味でつながり、村民の「生きるを楽しむ」活動の可能性を広げることが目的とした「やってみよう掲示板」や、村民が仕事・特技・好きなことや趣味を生かした講師となることで、村民の多様な体験機会が増え、好きなことや趣味を見つけたり、広げたりすることができる「村民講師」を実施するなどしており、令和6年度の企画数120件のうち、村民企画は57件と実施企画の半数となっている。

また、取組を評価・検証するため、施設ビジョンにあわせた評価指標を立てている。「あつまる」では館内サービス利用者数、「つながる」ではスタッフがつながりのコーディネート件数、「やってみよう」では利用者が参画した企画数をもとに評価を行い、評価指標データから仮説とアクションについて協議し、取組を有効化している。

【表彰館】津山市広野公民館

地元からの要望である「農村歌舞伎を保存したい」との相談を受け、行政や教育委員会、学校関係者との打合せと調整を行い、協力関係を構築し、広野子ども歌舞伎教室の組織化を行うことにより、隣町の奈義町の横仙歌舞伎の協力を得て、当事者同士の交流が活発になったことだけでなく、行政間でも協力体制の構築を図ることができた。

子どもたちは公演の成功により、大人達から褒められ、自分も地域の役に立つということを感じ、達成感、自己肯定感を獲得、醸成できた。また、子どもたちが気軽に公民館を訪れるようになり、空き室を利用して学習やレクリエーションを行うなど、公民館が自分たちにとって安心して過ごすことのできる「居場所」となっている。

【表彰館】里庄町中央公民館

里庄町中央公民館では「元気で笑顔あふれるまち里庄」の実現を目指し、生涯学習の拠点として多彩な活動を展開している。公民館講座に加え、文化協会や自主講座など月に約50講座が継続的に実施されている。

また、複合施設という特性を活かし、老人福祉センターの入浴サービスやフィットネス事業、手話サークルをはじめとするボランティア団体や子育てひろば、発達支援センター、認知症カフェ、文化協会など多様な団体や利用者を結び付けている。赤ちゃんから高齢者までが自ら集い、交流し、主体的に活動できる環境が整えられており、公民館が団体間の橋渡しや情報提供を行うことで交流の輪が広がり、元気で笑顔あふれるまちを実現する場となっている。

全国公民館連合会表彰 (3名) 【永年勤続職員表彰】

井上 規差子 (津山市大崎公民館 館長)

川端 紀子 (津山市佐良山公民館 館長)

西山 亮二 (津山市阿波公民館 館長)

岡山県公民館連合会表彰 (19名) 【優良職員表彰】

今井 大樹 (岡山市立妹尾公民館 公民館主事)

角尾 紀子 (ライフパーク倉敷市民学習センター 主幹)

長鋪 宜子 (倉敷市児島公民館 主任)

永禮 茂 (津山市高野公民館 館長)

堀田 一郎 (津山市城西公民館 館長)

小野田 博之 (津山市加茂町公民館 館長)

藤本 浩克 (津山市久米公民館 館長)

水舟 淑子 (総社市中央公民館池田分館 分館主事)

横田 マリ子 (総社市東公民館阿曾分館 分館主事)

板野 誠 (総社市山手公民館西部分館 分館長)

新谷 修 (総社市山手公民館西部分館 分館主事)

内藤 弘子 (高梁市津川公民館 公民館主事)

大森 基志 (矢掛町川面公民館 副館長)

大神 由美子 (矢掛町川面公民館 主事)

坂本 利江子 (矢掛町小田公民館 主事)

島袋 律子 (鏡野町立芳野公民館 館長)

竹竝 誠一 (吉備中央町納地公民館 館長)

三村 秀樹 (岡山県公民館連合会 前理事)

石倉 須美江 (岡山県公民館連合会 前理事)

敬称略・順不同

令和7年度 岡山県公民館連合会事業

理事会・ブロック会・総会・第1回 研修会

開催日 令和7年5月30日(金) 場所 岡山県生涯学習センター

【理事会・総会】 ○令和6年度事業報告・決算報告及び監査報告

○令和7年度事業計画(案)及び予算(案) 他

【ブロック会】 ○ブロックごとの情報共有

【内 容】 ○講義「暮らしの遊びをともに創り出す公民館

～目の前の時代と人に向き合う公民館に向けて～

講師 九州大学大学院 人間環境学研究院教育学部門 教授 岡 幸江 氏

○情報交換

公民館の役割や在り方について、教育的アプローチや学習の主体が住民であること、住民の学習や暮らしを発展させることの大切さを、岡山県内の取組や福岡県内の事例をご紹介いただきながらご講義いただきました。

岡山県公民館連合会



第2回 研修会

【井原会場】 開催日 令和7年6月24日(火) 場所 アクティブライフ井原

【真庭会場】 開催日 令和7年6月25日(水) 場所 真庭市久世公民館

【内 容】 ○講義「失敗をおそれず やってみたいをやってみよう！」

講師 大阪狭山市立公民館 チーフ 小松 茂美 氏

○演習「講座づくりをやってみよう！」

公民館の講座づくりに取り組む際に、講座の対象者や目的を明確にすることの大切さや自分ごとを掘り起こして自分たちごと(地域の課題につながるもの)を見つけることなどを、個人やグループでのワークを取り入れながらご自身の豊富な実践を交えてご講義いただきました。



第3回 研修会

【倉敷会場】 開催日 令和7年12月4日(木) 場所 ライフパーク倉敷市民学習センター

【美作会場】 開催日 令和7年12月5日(金) 場所 美作市作東公民館

【内 容】 ○講義「社会教育事業における評価の意義と方法」

講師 広島修道大学 人文学部 教授 山川 肖美 氏

文教大学 人間科学部 教授 金藤 ふゆ子 氏

○演習「講座ごとの評価を考えよう」

「社会教育事業における評価の意義と方法」と題して、ご講義をいただきました。その後、これまでの講座の目的と評価の関係性は適切かグループで話し合いました。グループ内での意見交換は活発で、講師の先生への質問もあり、事業評価の意義や目的、方法等について学びました。



第4回 研修会

開催日 令和8年1月27日(火) 場所 岡山県生涯学習センター

【内 容】 ○トークセッション

令和6年度 第8回「公民館職員が選ぶ! 講座アワード」受賞館から学ぶ

発表館 津山市広野公民館、津山市院庄公民館、岡山市立高島公民館

○情報交換会

○第9回「公民館職員が選ぶ! 講座アワード」表彰式 ※詳細は、P4・5

令和6年度 第8回「公民館職員が選ぶ! 講座アワード」受賞館のトークセッションに続き、地域資源を振り返り、自館の来年度の取組をグループで話し合いました。最後に、第9回「公民館職員が選ぶ! 講座アワード」のグランプリ・準グランプリ・3位の発表と表彰を行いました。



第9回 公民館職員が



本年度、第9回を迎えた「公民館職員が選ぶ!講座アワード」では、県内の公民館から108の「おすすめ講座」が提出され、その中から67の実践がアワードにエントリーされました。本当にありがとうございました。

投票された公民館職員から「取組で参考になる点が大変あった。我が公民館でも開催したいです。」「これをきっかけに他市町村の公民館の方と繋がる事ができた。」といった感想をいただきました。また、「活動内容を参考にし、次年度に向け頑張っていきたい。」という前向きな声も届いています。

これからも「公民館職員が選ぶ!講座アワード」の取組が、「地域の枠をこえたつながりづくり」「アイデアの宝庫」となり、「公民館活動の活性化」につながるように努めて参ります。

ぜひ、各公民館の頑張りや新たな挑戦、ちょっとした工夫などをおすすめ講座として提出してください。県内の公民館活動の充実に向けて、来年度の講座アワードも、多くの公民館からのエントリーをお待ちしています。



中学生ボランティアグループ「THANK-FULL」 ～中学生がつくる公民館講座～

岡山市立一宮公民館 (20票)



【投票理由】

- 中学生が自主的に申込み、月に一度定例会を行い、若者の参画の好事例となっている。また、世代を超えた交流も新たに生まれており、今後の活動の展開に期待できると感じました。
- 地域の中で育ち、地域とともに成長していく中学生の育成・地域の一人としての自覚を持ち、主体的に活動していく力を備えた中学生の育成・地域の大人と中学生がひとつになって、学校と地域の連携・協働を実現、将来的に地域活動の活性化を目指しているという点も自分が目指していることと重なり共感を覚えた。活動内容を参考にし、次年度に向け、頑張っていきたいと思った。
- 中学生が主体となり企画運営し、様々な出会いや経験をしていくことは、これから先生きていく上で、本当に宝物になると思います。
- 中学生が講座をつくることによって、地域の中で育ち 地域とともに成長していく仕組みが良いと思いました。

岡山市立一宮公民館 中学生ボランティアグループ
サラン グループ
THANK-FULL
～中学生がつくる公民館講座～

地域の中で育ち 地域とともに成長していく 中学生の育成
地域の一人としての自覚をもち 主体的に活動していく力を備えた 中学生の育成
地域の大人と中学生が ひとつになって活動することで学校と地域の協働を実現し
将来に向け地域活動が活性化することをめざします

今年まで3年目を迎えたサックフル。登録者数は45人!全員が、自分から参加してみたい、何かに挑戦してみたいに動機づけられています。

月に一度、公民館で定例会を行っています。地域の中で、やってみたいことや得意な得意な事に合わせて参加しています。

他にも、地域行事や原簿館の行事へのボランティア参加もしています。

身体が●小学生が家の講座「サックフル」では、定例会のついでに活動しています。

今年度初めて、世代を超えた交流の機会を企画、開催しました!!

中学生たちが
活動を通して普段の学校生活では出会うことのできない人達と出会い、時間を共有し、そこで生まれたつながりが将来地域を支える人材として、また社会を生き抜く一人として、その後の人生豊かにするうえで欠かせない財産のひとつとなることを願って活動をしています。

選ぶ！ 講座アワード

講座アワードにエントリーされた全館の実践報告はこちらからご覧いただけます。



ふれあい水田米作り体験 ～田植え・稲刈り・脱穀・縄ない～ 笠岡市北川公民館 (15 票)



【投票理由】

- 小学生から大人それぞれの団体で、「食」に関する米作りを体験しており、田植えから縄ないまで一貫して実施していることを評価しました。
- 世代間交流を通じて日本の食文化、その大切さを知ることができる素晴らしい講座である。
- 地域に根付いたお米作りについて、子供たちが一年かけて体験できる良い機会を提供されているのが良いと思います。
- 子供と地域の方々のふれあいのきっかけづくりになると思ったので、選びました。

北川公民館

ふれあい水田米作り体験 ～田植え・稲刈り・脱穀・縄ない～

北川地区では毎年、北川小学校の5年生がふれあい作業応援隊・北川まちづくり協議会・愛育委員会・更生保護女性会・5年生保護者・地元有志の方々と一緒に、田植え・稲刈り・脱穀の体験をしています。

☆ 目的
北川小学校の「米作り」体験学習を支援するとともに、世代間交流を図り活力ある地域づくりを行うことを目的とする。

☆ 活動の様子

6/18 田植え
みんなで一列になり自分の手で苗を植えていきました。足の指の間に泥が入ってくる感触にびっくりしている様子も見られました。

10/22 稲刈り
鎌の使い方や教えてもらいながら稲を刈っていました。今では少なくなっている鎌での稲刈りは貴重な体験です。

10/29 脱穀・縄ない
昔の道具を使っての脱穀体験と機械を使っての脱穀体験と両方を体験しました。縄わらを使っての縄ないではコウを掴むまでは苦戦していましたが、うまくできた時の笑顔が印象的でした。

☆ 効果
子供たちから「自分たちで田植えをして、稲を刈って、脱穀をして、米作りがどれほど大変なのかわかることができました。」「今まで以上にお米を大切に食べたい。」などの感想があり、米作りの方法や苦労を知るとともに食の大切さを学ぶことができたと感じました。また、世代間でも自然に交流する様子もたくさん見られました。12月の文化祭での餅つきも楽しみです。

高校生が案内する 玉島の町とソウルフード 倉敷市玉島西公民館 (11 票)



【投票理由】

- 地元の高校生が地域資源(伝統的町並やソウルフード)について学び、講師を務める講座は、他の地域でも参考になる手法であると思う。
- 高校生が、郷土料理や特産物など、地域に伝わる食文化について調べたことを紹介することで、その継承の意義を考える学習機会を提供する講座となっている。この講座への参加を通して、地域への愛着を育み、将来、地域を支える人材として成長していくことが期待できる。

かがみの未来じゅく 鏡野町立中央公民館 (11 票)



【投票理由】

- あまごのつかみ取り、遺跡の文化財、雪合戦など、地域の自然の「資源」を1年を通してフル活用しているところが素晴らしい。
- 地域の名産を通じて世代を越えた交流が出来る所が参考になった。
- 講座内容は種類が豊富で魅力的であるし、講座の完成に地域の青年団や保護者が関わっているのが良いと感じた。

第47回全国公民館研究集会東京大会

第47回全国公民館研究集会東京大会が、11月12日(水)～13日(木)に東京国際フォーラムを会場に開催されました。

1日目は、オープニングに障がいを持つ方々で構成される「ぼこあぼこハンドベルアンサンブル」の演奏で始まり、全国公民館連合会表彰の授与、コミュニティデザイナーの山崎亮氏による基調講演のほか、「ミライにつなぎひろげる公民館活動」と題してシンポジウムが行われました。



2日目は、大正大学教授の牧野篤氏と文化活動家のアサダワタル氏との対談、ムービー「若者が地域のミライをひらく」の上映、牧野篤氏と株式会社グランドレベル代表の田中元子氏との対談が行われました。

対談やシンポジウムでは、コミュニティデザインの分野、福祉の分野、私設公民館等、それぞれの視点から公民館的な取組が社会に開かれている様子を伺い、改めて公民館のもつ役割の重要性を再認識するものでした。



東京大会の動画は、こちらからご覧いただけます。



第37回全国公民館セミナー

令和8年2月2日(月)～2月4日(水)の3日間、明治安田ホールにて開催された「第37回全国公民館セミナー」に参加されたお三方の感想を紹介します。

◆倉敷市玉島西公民館 山根 敬仁 館長

「つなぐ・はぐくむ・ひらく」の研修テーマのもと、文部科学省の公民館をめぐる動きについての施策説明、「次世代へつながる公民館のしくみづくり」についてのシンポジウム、素晴らしいアイデアと実践の事例発表、「若者が地域のミライをひらく」と題しての映画の鑑賞、そして「公民館の困りごとを解決」と題しての講習がありました。シンポジウムや事例発表、映画では、公民館の大きく広がる可能性の中で、社会教育の意義と重要性を改めて実感するとともに、明日の仕事に対する意欲をかき立てられました。

◆津山市広野公民館 忠政 泰男 館長

キーワードは「ごちゃまぜ！」

課題は、「つなぐ・はぐくむ・ひらく『次世代へつなぐ公民館活動のしくみづくり』」

まず、文部科学省総合教育政策局の高田課長より、地域と学校の連携・協働について公民館等の社会教育施設の果たす役割と機能が強化され拡大されていると説明があった。2日目以降の実例やグループワークの会話の中から、公民館の「やれること」は沢山あることを学ばせて頂いた。

◆新見市哲西公民館 村上 弘 館長

「つなぐ・はぐくむ・ひらく」をテーマに、シンポジウムや事例発表、映画鑑賞・トークセッション、情報交換会が行われ、中身の濃いとても充実した研修でした。グループワークでも、「ごちゃまぜ」をキーワードに討議が行われ、多世代がつながり、子どもたちの育ちを支える公民館の可能性や多様性を学ぶことができました。

お知らせ

「第48回全国公民館研究集会島根県大会 兼 第47回中国・四国地区公民館研究集会島根大会」

【大会テーマ】 「地域コミュニティのつながりが明るい未来を創る」～今、公民館にできることは～
【日 時】 令和8年10月15日(木)・16日(金)
【場 所】 くにびきメッセ(島根県立産業交流会館)(全体会・分科会)

公民館 ひと・ひと・グループ



「みさONメンバーズ、元気に活動中！」

備前ブロック

岡山市立操山公民館



天ノ川祭のようす。
笹飾りを作って持ち帰りました。

中高生が主体的に地域課題を考え活動するグループ「みさONメンバーズ」を、就実大学の社会教育実習生の協力を得ながら、令和6年度に立ち上げました。

ハロウィンイベントを皮切りに、天ノ川祭や夏休み宿題教室後のお楽しみ会の実施、お月見イベントへの協力、地域のもちつき大会へのスタッフ参加に加え、国際会議のポスタープレゼンテーションに挑戦したり、「操山史蹟めぐりwebコンテンツ」を作成したりもしています。

大切なことは、中高生たちが「やりたい」と思ったことを、協議し実現していくことです。みさONの仲間と、活動を応援し見守ってくれる地域の方々も募集中です！



「講座作りを通じて得たもの」

備中ブロック

浅口市立中央公民館



おせち作りを通じて、高校生の想いを小学生へ伝えることができました。

12月26日に、鴨方高校の生徒が企画・運営した講座「未来につなぐおせちづくり」を開催しました。

2時間の講座でしたが、準備に費やした時間は10時間以上！講座の内容を考えるのはもちろん、ゴミ問題を説明する練習や、説明に説得力を出すための河川清掃活動も行いました。

迎えた当日、工作おせち作りでは、小学生の自由な発想に戸惑いながらも、それを受け入れる高校生たち。不安や緊張もあったけれど、無事に講座が終了。

講座作りを通じて、人と人との関わり方について、発見や学びを得ることができました。

このイベントは岡山県生涯学習センターの事業「高校生 × 地域」で実現しました。



「フラワーアレンジメント教室」

美作ブロック

真庭市久世公民館



参加者同士の交流を楽しみながら、しめ縄作りを行いました。

久世公民館では、市民の方々の交流や植物に触れる機会を提供するべく、フラワーアレンジメント教室を開催しています。講師の方をお呼びし、年に3回実施しており、季節に合った植物を使って作品制作を行っています。制作活動を通じて、創作の楽しさ・植物の魅力を感じていただくことを目的としています。

第1回は「苔玉」、第2回は「お正月のお飾り」を制作し、いずれも参加者から好評を得ることができました。第3回は春のお花を用いた作品作りを予定しています。

まちから むらから フォトレター



「あかいわふるさと探検隊」赤磐市立中央公民館

赤磐市の豊かな自然を体験しながら、楽しく学習していく全6回の講座で、11月は「サバイバル体験」を行いました。ペットボトルで水をろ過する方法、落ち葉や枯れ木を使う火おこし方法など、「いざ」という時に身近なものでできる技を実際に体験しながら学びました。



「防災デイキャンプ」吉備中央町津賀公民館

乳幼児や小・中学生の子どもから高齢者まで幅広い世代の地域住民が参加し、簡易組立ベッドの展示や防災食の試食、消防署の協力による水消火器体験など、「見て・さわって・食べて」を体験し、防災について「新しい気づき」が生まれました。



「手芸クラブ“レモングラスを使って”」笠岡市北木西公民館

文化祭展示に向けて“レモングラス”でしめ飾りや“クリスマス飾り”などを作ります。レモンの香りがするハーブ・アロマは、美容・健康に幅広く利用されているようです。さすが女性たち、ユニークな発想で作品作りに没頭しました。



「いきいき広場」早島町中央公民館

「生きがいのある毎日！～終わらないマナビ、この先もずっと～」をテーマとした「2025はやしま生涯学習まつり」(10/8～11/11)の期間のメインイベントで、花ござ手織り体験、公民館の各部屋でのワークショップ、駐車場で電動カート体験、模擬店のほか、リズムジャンプや能の体験コーナーなどを開催。多くの町民が集い、マナビを体験しました。



「カブトムシ講座」久米南町コミュニティセンター

近年は猛暑でなかなか外でも見かけられない、カブトムシやクワガタに触れられる講座を開催しました。カブトムシのからだや、よくいる場所、捕まえ方などについて、町立図書館で借りられる本をつかった講座や、実際に昆虫に触れながら、勉強しました。最後には、講座で使ったカブトムシのプレゼントもあり、こどもたちは大喜びで帰路につきました。



「洋食のプロに学ぶ 親子料理教室」美咲町中央公民館

今年度は夏休みに小中学生を対象とした親子料理教室を行いました。講師は地元にお住いの元ホテル料理長で、サンドイッチやフレンチトーストを教えていただきました。味付けや配膳の仕方などプロの技を目の当たりにし、親子で貴重な体験ができました。夏休みのよき思い出づくりとともに、早い時期から公民館の活動に触れるきっかけとなりました。

